

「信濃教育」目次集

毎号に登載したもの

- ・口絵「今、教師や子どもは」
- ・本会の動き（前月分）
- ・インフォメーション
- ・編集後記

〔標 題〕

〔筆者名〕

四月（一五一七号）

巻頭言 現場

巻頭提言 二十五年度の出発に当たって思うこと
く求めよう、集おう、そして共に学び続けよう
うく

△テーマ 私を育てた人／出会い／体験／もの▽

私の道徳授業を支えているもの 土屋 晋
私のベースとなる出会い 武田 敦子
赤彦童謡に触れて 堀内 明彦
満蒙開拓団跡地を訪ねて 今井 良一
今の私を支える出会い 竹下 啓介
生徒と向き合い、心がつながる心がつながら
てからが新たな始まり 石橋 静香
K君との出会いから学んだこと 櫻井多美江
すばらしい出会いの中から 忠地眞理子
クラスで八の字ジャンプ 蓑輪 勝枝

鬼が笑う？
坐禅に親しむ

わたしの教育観を変えた養護学校での三年間

保健室 アートセラピー

「顔真卿」との出会い 自分を見つめて
して今…

私が出会った「清掃」

私の背景と模索

地域が求め、学校が求めたこと―実践から学
んだ本質―

五月（一五一八号）

巻頭言 道徳の教科化？

△テーマ 瞳のなかに子どもを映して▽

牛山榮世先生と出会ったことの意味

牛山榮世先生を偲ぶ
佐藤 学

内からひらく教育の探求

あなたは、何を、私たちに？―牛山先生に尋
ね続けること―

教師を育てるという仕事 ―牛山榮世先生の
教え―

鼎談 私淑の人 牛山榮世先生の教え『学ぶ
ということ』を考える

久保田ひろ子
田中 妙子

牛山榮世先生を思う
今から ここから 子どもから

牛山榮世先生から教えていただいたこと
宮澤 俊充

牛山先生が語られた「ことば」の奥にあるも
の

子どもと共に居る感覚

牛山榮世先生との出会い
牛山榮世先生から学んだこと

大藪 勝
村上きよみ
岩原 秀志
青木 猛

子どもに寄り添う学びを教えてください

奥井 一良

六月（一五一九号）

巻頭言 信じる

巻頭提言 いま学校が最も重視すべきことは何か

△テーマ 学力問題を考える その5▽

果物屋の娘の本気

学びやすさをふやすための支援 瀧澤 幸治

学校の風 How to の問いから What の問い
へ

三つの柱で学力の向上をめざして―子どもの
学習意欲に火をつける―

私たちの授業づくりの努力は、学力問題を改
善したか

学力向上を目指した授業改善

「自己流の授業・家庭学習」からの転換

つなぐ 学年・同僚をつなぐ 家庭

とつなぐ 人・地域とつなぐ

あたり前のことをあたり前に

子どもの心の中で生まれる言葉 ―同僚性の
育てるもの―

技術・家庭の授業を通して「生きる力」の育
成を目指して―授業時間数の増加を願う―

成を

成を

成を

成を

成を

成を

成を

成を

成を

成を

七月（一五二〇号）

巻頭言 事を実にして是を求む

巻頭提言 学力問題とは何か―忘れられた「学ぶ
ことの意味」―

△テーマ 学力問題を考える その6▽

問うことは簡単だけれども

小中一貫教育の推進で学力の向上をめざす取
り組み 「確かな学力」と「自立をめざす心
と力」を育むために

家庭学習と授業・ドリルをつなぐ指導のあり
方

「自ら生き生きと学ぶ子ども」をめざして

矢島 勝義

矢島 勝義

矢島 勝義

矢島 勝義

矢島 勝義

矢島 勝義

矢島 勝義

矢島 勝義

飯澤 隆
松川北小学校
学力向上に向けて
全職員で一歩ずつ進めていく、授業改善の取
り組み
宮沢 和明
「パワーアップ元気カード」による取り組み

八月（一五二一号）
巻頭言 生涯、共に在る
〈特集 わがままとの教育をええん々 No.4 繋いできた編教育〉
教育史年表
保科百助
保科百助（五無齋）に学び伝える

九月（一五二三号）
巻頭言 教師が未熟であることの豊かさ
巻頭提言 子ども虐待の根絶を目指してー今、私
たちにできることー
花岡 洋一
〈テーマ 家庭教育の充実で子育てを〉
松田道雄の子育て論から今学ぶこと
大森 隆子

岡山小学校重点研究部会
主人公として生きるー「自尊感情」を高める
キャリア教育ー
伊藤 秀雄
あたり前の小さなことを積み重ねてー学力向
上の取り組みからー
小河 保宣
子どもこそ恩師
高橋 康祐
学びの場
藤松 ふみ
出合い
両角 文秋
『私の夢』
日向 香菜
天与の道
高橋 早苗
地域に生きる、文化を伝える
田中 泉水
前進
内田 昌宏
随筆
天地悠久の真理が教育の原点
青山 俊董
子どもたちからの手紙
田口 広幸
究極のアンサンブル『雅楽』に挑戦ー日本の
伝統音楽のよさを味わう授業づくりー
木次 久美

市村咸人
「地方史研究の座」を確立した市村咸人とそ
の遺産
山浦 政
山浦 政
天人妙合の境に生きた人 手法は天衣無縫
骨太の教育者 山浦政先生 長岡 克衛
一志茂樹
一志茂樹のめざしたもの
高津作吉
「真っ当な教育者」高津作吉 太田 秀保
小林袈裟春
昭和教育の課題を次代の教育改革に生かすこ
とを訴え続けた教育改革の旗頭
人物特集編集委員会
矢島 正一

家庭や地域との協働で児童を育てるー放課後
スクールと家庭学習の充実の取り組みー
眞島 紀章
家庭教育の充実で子育てを
山岸 澄雄
発信と連携で充実した家庭学習へ
中島 元博
家庭と連携したメディアコントロール
宮下 宏
ノーテレビデー・ノーゲームデーの実施
青木 幸雄
家庭とともに『うちどく』を
関 ひろみ
見ようとなえすればー出合いをつなぐー
市村 昌平
主張するほどのことではありませんがーお
世話になる子育てのすすめー 大久保あきほ
子どもと共に
櫻井 範彰
母 月岡 恵理

脱サラして長野に越して
雑巾がけで自分磨き
つながり
武藤 悠子
随筆
天地いつばいの生命にめざめて生きる
青山 俊董
笑顔が行き交う町
吉村 徹
Work わく タイム 十二才のハローワ
ーク！ー総合的な学習の時間の中で息づくキ
ャリア教育ー伊那中学校 キャリア教育部会

帳」の実践を通してー
私を支える出合い
私が野球を続けている理由
私のあこがれる先生
夢
「対話」ができる教師に
元気をもらいに
子どもを大切に考えようということ
随筆
授かりとしていただいてゆく人生 人生二つ
の姿ーその一
心が響き合う
学校におけるヒヤリ・ハット事例から養護教
諭の役割を考える
塩筑北部教育会養護教諭部会
中曽根 力
胡桃澤輝彦
平田 永繁
山田 陽介
宮澤 悠美
廣瀬 雅弘
小林 登志
平山 稿治

来賓祝辞 下村 博文（代読 布村幸彦）
加藤さゆり 鷺澤 正一
平成二十五年度事業計画概要
悩む力と学ぶ力
今、子どもの何をどう育てたらよいか問い直
す
岩川 直樹 斉藤 金司
櫻井 清志 吉池 茜 赤羽 郁夫
青木 要
御礼のあいさつ

十月（一五二三号）

巻頭言 道徳教育の充実
巻頭提言 社会力育てこそいじめ根絶の鍵
門脇 厚司

〈テーマ 人間関係づくりといじめの予防教育〉
いじめ問題の本当の解決は「予防教育」にあ
る
山崎 勝之

〈テーマ 特別支援教育について考える〉
特別な教育的ニーズのある子どもを適切に見
取る
名越 斉子

自己肯定感の育成を大事にした人間関係づく
り
矢島 理恵
「学校」という家族の中で
宮津 和範
知恵を出し合いみんなで進める生徒指導ー小
さいことから 丁寧ー
飯田八重子
子ども同士の心の交流を願ってー「あのね

十一月（一五二四号）
巻頭言 伝承の連鎖
〈特集 第六十五回日本連合教育会研究大会長野
大会 第百二十七回信濃教育会総集会〉
総集会スナップ
開会式
大会長あいさつ
後藤 正幸

校内支援体制の再構築の現状と課題ー特別支
援教育コーディネーターを核とした校内支援
体制を目指してー
小嶋 保明
通常学級で支援が必要な児童への支援体制作
り
高橋いづみ
つながる・つなげる特別支援教育

誰もが取り組める特別支援教育の構築
矢澤 善夫
一人でも多くの目で子どもを見つめる
三溝 裕子
当たり前の一步一步―Aさんが教えてくれた
私たちの本道―
上島 猛
通常学級における特別支援教育を考える
徳間小学校研究推進委員会
一人ひとりの教育的ニーズに応じたキャリア
発達を支える支援のあり方

特別支援教育研究調査委員会

一月（一五二六号）
一 班
二 班
三 班
青木 一男
新井好仁先生を追って
「信州型コミュニティ・スクール（元氣アツ
プみあさプロジェクト）」の取り組み
工藤 忠好
教師修行の中で
柳澤 充人
子どもの気持ちに寄り添える先生に
佐藤 智子
チョビヒゲ先生から学んだこと
奥原 成子
人を残して一流
柄澤 克彦

飯田西中学校で学んだこと
平出 直重
随筆
扱びぬいてゆかねばならない人生 人生二つ
の姿―その二
一瞬の迷い
講演記録 生涯学習センター
信濃教育会「生涯学習講座」
西谷啓治の世界―意識を越えて
「宗教／哲学」の「もと」への究明《前編》
森 哲郎

一月（一五二六号）
巻頭言 決意新たに
巻頭言 グローバル化時代に求められる教育と
は「他者を変える教育」から「自己が変わり、
社会が変わる学習」へ
永田 佳之
△テーマ 地域との連携で進める教育活動△
地域を活かす教育を進める教師 木全 力夫
Give & takeではなく、win & win
市瀬 徹
「地域との連携」は「地域の方との語り合
い」から「地域と共に学校の力をパワーアッ
プ」
一ノ瀬浩子
地域と学校が元氣になり笑顔でいきいき学べ

る（活動できる）地域連携のあり方について
田澤 稔
地域の自然や文化を尊ぶ生徒を目指して「地
域学習の取り組みから」
窪田 尚幸
地域の学校としての歴史をつなげて
伊藤可主也
地域に支えられ 見守られて育つ「称津っ
子」
富岡 茂樹
人権教育に立脚する三岳タイムの実践
青木 信一
私の「出会い」
河野 寛樹
仕事は、下手がよい
太田 兼彦
私の尊敬する先生
北原 憲康
学校は楽しい
若林 綾美
私のエネルギー源
窪田 淳子
命をいただくということ
清水 麻美
こまればのような人々たち
土崎 朋美
随筆
世界に誇る静寂の文化―勅題「静」によせて
青山 俊董
堀籠 敦

「宗教／哲学」の「もと」への究明《後編》
森 哲郎

二月（一五二七号）
巻頭言 わたしたちの道徳
巻頭言 私の求める道徳教育
林 泰成
△特集 今教育は―私の求める道徳教育△
道徳教育は何を重視すべきか
小国 喜弘
子どもと教師がともに感動できる道徳の授業
を目指して
土屋 晋
今、私が大事に考えていきたい道徳教育
柳原 孝一

私が考える道徳教育に期待されていること
林 一穂
心が元氣になる道徳教育を求めて
下島 弘子
体験活動を生かした道徳教育と子どもの評価
金田 義雄
道徳教育の充実について考えること
末木 吾朗
子どもたちが笑顔になる道徳の授業
塚口 善春
心をはぐくむ三本の矢
松島 千尋
「ないた赤おに」への挑戦
佐々木真実

三月（一五二八号）

巻頭言 信州子ども絵画一〇〇年間の絵
巻頭言 あの日から三年を迎えて―石巻市内
小・中学校の現況と門脇小学校のあの日・あ
の時―
鈴木 洋子
あの日からのこと―復興教育の取り組み―
藤坂 雄一
△テーマ 三・一一、三・一二を忘れない△
東日本大震災に学ぶ諏訪の子どもたち「『つ
ながる』から『つなげる』へ」
河手 正彦
被災地に心をつないで
萩原 敏樹
柴 俊春

「三・一一 忘れてなるものか」との決意で
丸山 勝久
人は人から学ぶ
平松 敏朗
早朝ジョギングのすすめ
黒岩 龍也
白井孝先生！「言葉の宝」と「良質な音楽」
をありがとうございました！
高橋 和幸
私の「夢」と「とりえ」
飯島 誠
ひたすら教師の道を歩んできた思い『ふるさ
との自然を見つめて』
水木 勝俊
学校トイレ『5K』からの脱出
小島 諭
二年参りで感じたこと
堀内 義幸
随筆
つねに出発点に立つ思いといつ終わってもよ
いという生き方と―人生を円相で考える―
青山 俊董
今この時に思うこと
荒井 保直